

## 寅さん歩 その20

### 官公庁の食堂めぐり-12 墨田区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 7 番の墨田区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

〔墨田区役所〕 墨田区吾妻橋 1-23-20 最寄駅 銀座線 浅草駅

墨田区は 1947 年 3 月、江戸時代以来の地名を伝える本所区と向島区が合併して誕生。区名は「墨堤」、「隅田川」と親しまれてきた地名から一字ずつ選んだとのこと。隅田川と荒川・中川に挟まれた位置にあり、東部の地域は海拔ゼロメートル地帯。「すみだ観光まる得 BOOK」によると墨田区を「吾妻橋&押上」、「鐘ヶ淵&向島」、「八広&京島」、「錦糸町」、「両国」の 5 つのエリアに分けて紹介しています。2012 年 5 月、電波塔・観光施設として開業した東京スカイツリーの完成で世界的な観光地となりました。2012 年 8 月に東京に移住した寅次郎もタワーの下までは何度も行っていますが、混雑していて上まで行きませんでした。2018 年初めて天望デッキ、天望回廊まで上り、空中散歩とパノラマビューを満喫しました。



浅草駅から吾妻橋を渡り、隅田川沿いに左折すると、江戸を戦禍から救った勝海舟の銅像(写真下左)の広場が墨田区役所(1990年8月竣工、地上19階建、地下2階)の入口です。(写真下右)但し、そこは2Fなのでエスカレーターで墨田区役所食堂 レストランのある1Fへ下ります。



## 〔墨田区役所食堂 レストラン〕

ムサシ弁当 630円(写真下左)がリニューアルして数量限定と宣伝していたので自販機で食券を買いました。中の受付でも食券が買えます。ムサシ弁当とは東京スカイツリーの高さ634mにかけた名称で刺身と魚のフライ他が入った豪華版です。写真下右はイベントセット(にぎり寿司)700円です。こちらも満足の味でした。



この他のメニューはバリューセット 620円、ヘルシーセット 620円、ライスフード(丼) 500円、和麺 480円、ラーメン 500円で以上は日替わりです。カツ丼 620円、麺セット(ミニカレー付き) 530円、そば弁当 580円、カレーライス 400円、ミニカレーライス 200円、カツカレー 560円、週替わりカレーライス 480円、うどん・蕎麦 350円~380円、しょうゆラーメン 400円、チャーシューメン 530円もあります。

なお、他に販売日限定のイベントメニュー700円（3月は4日間）、区内の学校給食メニュー500円（3月は2日間）、トン汁定食550円（3月は4日間）があります。営業時間は11時～15時。桜の季節は混雑が予想されます。

「寅さん歩」の墨田区紹介は次の通りです。番号は「寅さん歩」の目次番号です。

大江戸福めぐり：06、東京発祥之地めぐり：12、17、お江戸の閻魔大王：120  
健康ご利益めぐり：50、51、江戸・東京の祭り：80、90、東京の桜：46  
江戸・東京（23区）の百名山：146、新しい祭：163、お江戸の時の鐘：175

墨田区の木は「サクラ」、花は「つつじ」です。



### 【バーチャルウォーク 途中経過】

2018年10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県を経て山口県に入りました。2019年3月27日現在、スタートから670kmの地点を通過しました。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

### 【寅次郎がウォーキングで出会った人ー11】

～ FWA会報「湘南ウォーカー」を後ろから読ませた川柳王 ～

FWA会報「湘南ウォーカー」の「ウォーキング川柳 雑句ばらん」やホームページ「ひろば」の連載コーナーの川柳作家の金子勝彦さん（写真右）です。友人の黒江輝雄さん（官公庁の食堂めぐり-11参照）の勧めで2007年10月入会されています。初めて例会に参加した時の感想を川柳にして黒江さんに送り、黒江さんがFWA会報に寄稿したのが掲載の始まりです。1、2句が選ばれて掲載されると思っていたら、なんと16句すべてが掲載されているのに正直びっくりしたそうです。以降はご本人から毎号16句が寄稿されています。



ホームページ「ひろば」の連載コーナーは2019年3月22日現在128回  
(合計2048句)も続く長寿コーナーです。

ご本人曰く「まさか10年以上も続くなど思いもよりませんでした、おかげ  
さまで当時の会報編集担当の川澄武雄さんのホメ殺しに乗ってしまい、今日  
まで来たところです。これはFWAの素晴らしいスタッフの方々とそれに賛  
同した多くのウォーカーに包まれて、支えられて来たから出来たことです」。  
川柳の掲載は会報の後ろから2ページ目なので前のページの例会予定よりも  
早く川柳を読みたいと「会報を後ろから読ませる」との逸話を持つFWAの  
川柳王です。

黒江さんとの出会いは金子さんのいた会社に黒江さんが定年後に再就職して  
来てお友達になったそうです。

川柳は特別に学んだことはない全くの自己流で、会報掲載の初めの頃は恥ず  
かしくて人前では自分の句だと知られるのを心配していたとのこと。

例会で寅次郎に会うと、ご本人曰く「背後霊になり、後ろを歩きます」と、  
川柳のヒントを探しています。1回の例会で数10句の川柳を詠み、手帳に  
書きとめておき、16句を選んで投稿するとのこと。努力していますね。

趣味は「俳諧」ではなく、トイレの多い地元横浜駅周辺を「徘徊すること」と  
笑っていますが、「図書館通い」で歴史小説などを月に20冊ほど借りて  
読み、川柳のヒントなるネタを拾っているそうです。

又、音楽を聴くことで疲れた左脳を鎮め、穏やかな右脳  
を刺激するそうで、ジャズ(中でも40年代のスイング、  
デキシード)やアルゼンチンタンゴが好きだそうです。  
謙遜していますが、かなりの知識をお持ちと推察します。

「歌ったり踊ったりはしませんが、ジャズやタンゴが好き  
なFWAの仲間がいたらコーヒーを飲みながら歓談したい  
ですね」と話していました。



「寅さん歩」の「発祥之地めぐり」(寅さん歩23 参照)を  
読んで、東京都台東区蔵前の川柳発祥之地(写真右)まで足  
を運んだという行動派です。

寅次郎、お話を伺い、幅広い趣味を持ち、ユーモアや  
センスを兼ね備えたお方だと感服し、金子さんの川柳が  
湧きあがる源泉を垣間見た次第です。  
寅次郎の3歳年上のお兄さんです。

寅次郎へ1句いただきました。



ホームページ開ければ寅さんご活躍

経年劣化のウォーカー 金子

今回は バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー8 です。

平野 寅次郎 拝